

エプソン対応Ksプリント課金システム

—大規模サーバー版—

Ksプリント課金システムはあらゆるWindowsアプリケーションの印刷において料金徴収を可能とするシステムです。



お客様に合わせて最適なシステムを構築します。

Ksプリント課金システムはお客様の運用形態に合わせてコイン装置、プリペイドカードなど複数の課金方式に対応しています。またカスタマイズにも柔軟に対応し、お客様の状況に即した最適なシステムを構築します。

様々な課金装置が使用可能



コンビニ等で課金コピーに使用されているコイン式課金装置、プリペイドカード装置、ICカード等、使用環境に合わせた課金装置が使用できます。

クライアントはWindows、Mac、Linux、UNIXに対応

クライアントPCはWindowsに加えて、Mac、Linux、UNIXにも対応しています。

対応プリンター

エプソン社のNetSDKがサポートしているプリンターと大判プリンタMAXARTシリーズをサポートしています。

用紙サイズ、カラー別に自由に単価設定できます

同じ用紙サイズでも、対象データをモノクロで印刷するかカラーで印刷するかによって印刷コストが変わります。Ksプリント課金システムでは用紙サイズ、カラー／モノクロ別に単価設定が可能です。

多彩なユーザー認証方式をサポート

大学や専門学校ではADやNTドメイン等の認証サーバーを使用し、公共図書館やネットカフェではユーザーが任意の文字列を入力する自由文字列方式など多彩なユーザー認証方式をサポートしています。

ロゴのカスタマイズ機能

操作画面のロゴは画像データを指定することで自由にカスタマイズできます。

印刷されたことが確認されてから料金を徴収します。

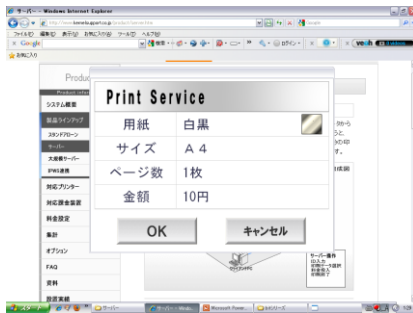
プリンターに出力されたことを確認してから料金を徴収します。紙詰まり、トナー切れ等のトラブル発生で印刷されなかった時は、料金を徴収しません。

サービスするデータを選びません。

インターネットの検索結果でも、ワード文書でも、通常のプリントアウトを行なうことが出来るアプリケーションの印刷全てが課金の対象になります。

印刷イメージ(自由文字列の場合)

クライアントPCでの操作

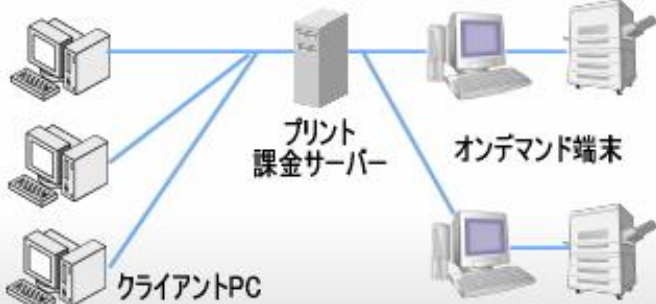


1 クライアントPCではアプリケーションから通常の印刷操作をします。

2 枚数や料金が表示されます。

3 ユーザー名などを入力します。(ADなどにログインしている場合は表示されません)

プリント課金システム構成図



印刷データがサーバーに送信されます。

印刷データがサーバーに送られます。実際の印刷はプリンタが接続されたオンデマンド端末で行ないます。ユーザー管理方式はAD、NTドメイン、LDAP、メールサーバー、ICカードなど多彩なユーザー管理方式に対応しています。またユーザー管理を行っていない環境でも、任意の文字列をパスワードとして使用する自由文字列方式をサポートしています。

オンデマンド端末での操作



1 クライアントPCで入力したユーザー名や、ADのログイン名等を入力します。(タッチパネルまたはマウス)

2 印刷ジョブの一覧が表示されます。印刷するジョブを選択します。

3 最後に料金がもう一度表示されます。課金装置に料金を投入して印刷を開始します。

(開発・販売) 株式会社カーネルサポート

〒244-0843
神奈川県横浜市栄区長尾台町251-3
TEL:045-851-4811 FAX:045-851-4811
e-mail sales@kernel-support.co.jp
HomePage <http://www.kernel-support.co.jp>

お問い合わせ先